

次号予告

特集 理学療法と作業療法20年の歩み

理学療法と作業療法の20年、そして将来……国療東京病院 砂原 茂 一

理学療法20年の歩み（現状と問題点）……都立養育院病院 松村 秩

作業療法20年の歩みと現状から……国療東京病院リハ学院 矢谷 令子

随想／私の歩み

（PT）石橋朝子，今井章夫，大内二男，神林直二，松沢 博，宮本重範，
渡辺敏弘

（OT）澤 治子，松本妙子，森下孝夫，山口頼音，渡辺 孝

とびら 心と身体……都立府中病院 三好 宣明
講座 歩行（基礎から臨床まで）

1. 歩行の生体力学(1)歩行分析の目的・歴史・方法

……埼玉県障害者リハセンター 飯田 勝

プロGRESS 白血病治療の進歩……名古屋大第一内科 大野 竜三

あんてな 人権と精神科作業療法をめぐる……国療東京病院リハ学院 篠田 峯子

編集後記

最近医療経済学という言葉が流行している。適切な医療費とより良い医療のあり方というのはわが国だけでなく世界的に永遠の課題なのかもしれない。保険本人に1割負担を導入したり，退職者保険を2割負担にしたり姑息的な手段が目にあまる。最近退職者保険の方は拠出金が余りすぎて返還をするという予測違いの全くだらしのないニュースも伝っている。そもそも日本人の美德か悪徳かわからぬが，医は仁術として金銭的话题を永い間医療職自身がタブーとし，その間に行政側のよいように振り廻された感が強い。医学系の授業を担当する教授連は少なくとも医療費の点数計算，入院料位暗算で出来る程度の知識と自覚を持って戴きたい。その上で学生を教育すれば少なくとも在学中に学生も医療における経済的感覚を養うことが出来るであろう。わが国の医療費の点数制度は出来高払いであり，その中に教育費と専門職の評価が全く含まれていないことを承知で何もアクションを起こさないまま教育者が教育を担当しているとすれば全く無責任なことである。そのような背景も充分ふまえてこの号の特

集をお目通し戴きたい。いくら良い医療であっても個人の犠牲の上に成り立つものは永続きはしない。“わが国の国民医療費の推移と展望”ではあたりまえのことであるが人口の高齢化が今後最大の課題になりそうである。老人の入院期間に制限を設けることが医療の質の向上につながるのではないだろうか。“民間病院における理学療法の経済的効率”，“精神科における作業療法の経済的効率”，“作業療法部門の経済的効率とその将来展望”では各々に特徴があり興味深い，今後の問題点として，リハビリテーションまがいの医療が一般社会でリハビリテーション医療と宣伝され誤解される例が増えるのではないかという危惧の念を持たざるを得ない。理学療法士，作業療法士の方々が自ら御自分達の提供する医療の質のコントロールが出来るようなシステムが構築されることを願っている。業務独占でない限りは質のコントロールを最重要視しないと職種そのものの正しい発展にも疑問が生じるのではないだろうか。

（荻島 秀男）

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都衛生局顧問

砂原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリ
センター病院院長

（五十音順，以下同じ）

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーシ
ョンクリニック 高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都立養育院リハビリ部

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆 宏

古 川 宏 博

松 沢 和 子

宮 崎 珠 子

宮 前 雄 子

山 田 雄 子

矢 谷 令 子

（担当 西塚・細田）